

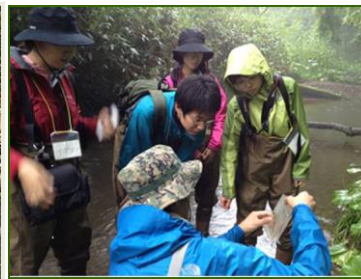
事業会社	王子木材緑化（株）
プログラム名称	猿払イトウ保全活動
プログラム・タイプ	生物多様性保全、流域環境保全
実施国・地域	ホッカイドウ サルフツサンリン 北海道・猿払山林
連携・協働相手	猿払イトウ保全協議会、猿払村、研究者と協力
リンク先	http://www.sarufutsu-icc.gr.jp/

活動概要

2009年来、北海道の猿払社有林のうち2,660haを環境保全区とし、絶滅危惧種である日本最大の淡水魚「イトウ」を保護する活動を行っています。猿払イトウ保全協議会は、日本最大の淡水魚で環境省レッドリストの絶滅危惧種に指定されている「イトウ」を保全するため、猿払イトウの会、研究者、猿払村、王子製紙（現 王子HD）の協働により設立された。設立に当たっては、当時の王子製紙が猿払社有林（約17,290ha）にイトウ保全のための環境保全林（約2,660ha）を設定、以来、森林内のパトロール、イトウの遡上阻害物の調査・除去、環境教育、研究者の生態調査への協力などの活動が行われている。



生態系調査後に放流されるイトウ
研究



大学生を招いたフィールド研